



た ま し ょ う

こ  
**玉小っ子**

<http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/>

令和5年度 玉村小学校  
学校だより 第11号  
2023年10月6日

## それぞれの最高地点へ ～玉村小学校運動会～

9月24日(日)、今年初めての秋晴れの中、玉村小学校の運動会が行われました。新型コロナウイルス感染症による制限もなくなり、たくさんの観客の中での運動会でした。今年は新しい試みがいくつもありました。

日頃のたてわり班を生かして赤組、白組に分かれて行いました。点数をつけて勝敗をつけることはしませんでした。他学年の競技で自分の組を応援したり、応援団を結成し気持ちを高めたりしました。開会式の応援歌「ゴー、ゴー、ゴー」を元気に歌う様子を見て、よい試みだったと確信しました。また、たてわり班で協力して長縄を行ったのも新しい試みでした。上級生が下級生にアドバイスしながら行ったり、跳べると拍手し失敗しても励ましたりするなど、回数を跳ぶ以上に大切なことに気づけたと思います。しかも、回数の差はわずか10回でした。

表現をブロック毎に行ったのも新しい試みでした。学年の人数が少なくなってしまったので、ブロックでやってみることにしましたが、練習していく中で、ブロック内の上の学年がよいモデルになり、暑くて大変だった練習を引っ張るといったよい面も見られました。

暑さ対策で他の学校からテントを借りて、子どもたちの観覧席に日陰を作ったのもよかったです。

開会式や閉会式を子どもたちで進めたり、保護者の方を向いて表現を行ったり、観覧場所を入れ替え制にしたりするのも定着してきました。今年度の運動会を振り返り、さらによい運動会にしていきたいと思います。

子どもたちの頑張りは、ご覧いただいたとおりです。今年は9月になっても暑い日が多く、練習も大変だったと思いますが、目的をもって取り組み、そして、本番では練習以上の力を出すことができました。何人もの子どもから「運動会 楽しかった」という声が聞かれました。楽しそうに踊ったり、指先までしっかり伸ばして表現したり、移動する時全力で走っていったりする姿はとても清々しかったです。

2学期はまだ続きます。行事もたくさんあります。運動会で身に付けた力を発揮し、さらに成長して行って下さい。

### <『たまエコ』ご協力のお願い>

メールでお知らせしたとおり、PTAで体操着のリユースをします。夏の体操着、玉小は冬の指定体育着がないので、体育着として使用できるジャージ等を集めています。サイズが小さくなってしまって本人は着れなくなってしまったけれど、リユースできそうなものがある方は、是非ご協力下さい。回収期間は11月7日(火)までとなっています。



## 世界平和の使者 青い目の人形 ～全校朝礼から～

今年、玉小が創立150年を迎えました。玉小の歴史を子どもたちに知ってもらいたいので、全校朝礼では「玉小のむかしシリーズ」として話をしています。5月の1回目は創立当初や多かつた時の児童数などを、6月の2回目は今も残っている丸いテーブルのこと、そして今回の3回目は、青い目の人形(ルースちゃんアンナちゃん)のことを話しました。

ルースちゃんは今から96年前(1927年)にアメリカからプレゼントされました。その頃の世界は、強い国が弱い国を武力で制圧し植民地とする帝国主義と言われる時代でした。明治維新後急速に力をつけた日本も周辺諸国を武力で攻め植民地支配を進めていました。そのような状況の中、アメリカ国内では日本人を追い出せという排斥運動も起こっていました。日本で英語の先生をしていたこともある宣教師のグーリックは、このことに心を痛め、日本の子どもたちに人形を送ることを考えます。アメリカ国内で寄付を募り、12739体もの人形を日本に送ります。青い目の人形には、子どもたちが世界に目を向け平和のために行動してほしい、という願いが込められています。



日本では洪沢栄一(来年1万円札の肖像となる予定です)が中心となって、人形を日本中の学校に配ります。ルースちゃんはその1つです。玉小の子どもたちも喜び、毎日眺めに行つたという記録が残っています。

しかし、ほどなくして太平洋戦争が起こり、日本とアメリカは敵として戦うことになってしまいます。当時の日本では英語も使つてはいけないという状況だったので、アメリカからもらった人形を持っていることはもつてのほかでした。そのため全国の学校にある12739体の青い目の人形はそのほとんどが焼かれてしまいました。

ところが、終戦から30年後、ルースちゃんが玉小の倉庫の隅から発見されました。誰かが見つからないようにそっと隠しておいたのかもしれませんが、ルースちゃんは奇跡的に生き残りました。そのように生き残った人形は日本全国で84体が確認されています。29年前(1994年)にはグーリック3世(グーリックの孫)が、生き残った青い目の人形のある学校に人形をおくりました。その一つがアンナちゃんです。

この青い目の人形には、世界の人が仲よくなつてほしいという願いが込められている奇跡的に生き残った人形です。玉小の子ども、世界に目を向け平和のために行動できる人になつたほしいと思います。

(子どもにはもう少し簡単な言葉で映像を見せながら話しました。)

※10月5日～12月24日まで、玉村町文化センター内の歴史資料館で『玉村っ子たちの学び舎』という企画展が開かれます。町内5校の歴史や玉小の学校の始まりである響義堂(きょうぎどう)のことなどが展示されます。玉小のルースちゃんアンナちゃん、円卓なども展示されます。また、6年生が書いた学校の自慢の木もあります。是非、ご覧下さい。

### <地域の方から>

地域の班長さんから、玉小の子どもがゴミ拾いを自主的に行っている姿を見てたいへん素晴らしいと思つたので、地区の大人達にも知らせたいという申し出がありました。ゴミを拾っている子は今回が初めてではなく、町をきれいにしたいという思いから前々からやっていたということでした。問題に気づき、自分で考えてよいと思つたことを行動していることがとても素晴らしいと思います。その方は、朝散歩している時も、たくさんの玉小の子が「おはようございます」と元気に挨拶を返してくれることもうれしいと言っていました。学校外でも、あいさつをしたり、自主的に行動している玉小の子ども、そして、それを見てくれている地域の方がいることをとてもうれしく思います。

玉小のホームページには、学校紹介のほか、予定表や学校通信、毎日の学校の様子をアップしている「学校日記」があります。タイムリーに掲載していきますので、是非ご覧下さい。

<http://www.town.tamamura.ed.jp/tamamura-e/>

